

「第6回まちづくり活動発表会」/傾聴さやまナーグループワークまとめ

開催日時	平成30年2月3日(土) 14:45~16:00 発表：16:00~(10分)	
参加者	栢原、宮本、永井、藤田、中尾、桑岡、中山、村上、寺岡、阪本、和久 ファシリテーター：伊勢田、日野	
テーマ	“傾聴の魅力”より多くの方にどのようにして伝えるか！	発表者：永井
内容	<p>1. 傾聴のあり方について</p> <p>① 寄り添うことが基本であり、相手の人が話したいと思うまで辛抱強く待つ。沈黙の人になることが大事。</p> <p>② 会話ができない人もいる。言葉は1割、その他が9割で目とか表情とかしぐさで気持ちを読み取ることも必要。</p> <p>③ 傾聴は幅広いので簡単にわかっているということはいえない。</p> <p>④ 傾聴はボランティアだが、弱者救済という認識でなく、同じ位置で接することが基本。</p> <p>⑤ 本人の意思を尊重し、黙っていることもある。</p> <p>⑥ 自然体で付き合う。共感できずに「でもね」と自分の意見を言うのは駄目。</p> <p>⑦ 傾聴に出かける時は玄関を出て真っ白な自分にして出発するようにしている。</p> <p>2. 傾聴の魅力とは</p> <p>① 相手が元気になってくれるとうれしい。</p> <p>② 人の笑顔を引き出せるとやりがいを感じる。</p> <p>③ 人の役に立っているという満足感がある。</p> <p>④ 魂の救済になっていると思う。</p> <p>⑤ 自分の身一つで参加、挑戦ができる。</p> <p>⑥ 傾聴を通して、“自分自身”が判る。人の話を聴いて自分の世界が広がる。</p> <p>⑦ お互いの信頼感を得て、エンパワーメントのひと時になる。</p> <p>⑧ グループ内に専門的な知識を持つ人が多く、自分のスキルアップにつながる。</p> <p>⑨ 他のメンバーからの刺激が得られる。会員同士の絆が強く助け合いができていく。</p> <p>⑩ 心の交流ができる。</p> <p>3. 傾聴の魅力をどのように伝えていくか</p> <p>① ボランティアをして会費や交通費もすべて自己負担なので、せめて交通費でも補助があれば、活動のしやすくなるのではないか。</p> <p>② 補助金交付についての各種情報を集めることも大事。</p> <p>③ 他の団体ともっと交流しすそ野を広げる、理解を得る。</p> <p>④ 高齢者だけでなく、若い世代も対象にするような仕組みがほしい。支援の必要な子供に対する傾聴ボランティアもあれば、もっと数多くの人に知って</p>	

もらえる。

- ⑤ 講習会を数多く実施する等、会員の増大を図る必要がある。
- ⑥ 施設で働いている方にも傾聴の講座を受けてもらい、傾聴を知って実践してもらえる。